

## 6 災害に強い地域社会と県土をつくる

◆ 国の「5か年加速化対策」を活用し、防災・減災対策を集中的に推進するとともに、地域支え合いによる「逃げ遅れゼロ」により安全・安心な県土づくりを推進

### 被災者の暮らしと生業の再建・被災施設の改良復旧

◆ 暮らし・生業再建本部を中心に、引き続き被災者に寄り添った支援を市町村と連携して実施するとともに、ビルド・バック・ベターの観点を持ちつつ、早期の復旧完了を目指す

災害復興住宅建設等への補助 7973万円(7074万円) ⇒建設部5

・令和元年東日本台風により被災した住宅の建設・補修等を支援するため、必要な資金の借入れの利子相当額の一部を助成

千曲川流域下水道下流処理区終末処理場(クリーンピア千曲)の災害復旧等 49億5757万2千円※(106億1700万円) ⇒環境部15

・令和4年4月の処理場全施設の本稼働に向けて、汚泥処理施設等の機械・電気設備工事や建築復旧工事等を実施

令和元年東日本台風災害からの復旧・復興 190億465万4千円(491億6848万3千円)

⇒農政部5~7、林務部13・16・19、建設部5・22~25、危機管理部、県民文化部ほか

・公共土木施設や耕地、社会福祉施設等の復旧、被災者の住まいの確保等を引き続き実施

### 防災・減災、県土強靱化

◆ 2月補正予算案(一般会計)に487億円を計上し、流域治水や道路・河川施設等の老朽化対策、防災重点農業用ため池の耐震化や排水機場の更新、治山施設の整備等を実施

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策(令和3~7年度) 487億4380万4千円※ ⇒建設部、林務部、農政部

・流域治水対策 ⇒詳細は次ページを参照

・集中的なインフラ老朽化対策や道路ネットワークの機能強化などを推進

・防災重点農業用ため池の耐震化や千曲川沿いの排水機場の更新、農業水利施設等の老朽化対策を実施

・山地災害危険地区等を対象にした治山施設の整備、防災機能の強化に向けた林道の整備・改良等を実施

## 流域治水の推進

### ◆水害の頻発化・激甚化に対応するため、これまでの治水対策に加え、市町村や民間事業者、県民などの流域関係者全員が参画して、水害に強い、安全・安心な地域づくりを推進

河川整備の取組 247億751万8千円※(158億7076万4千円) ⇒建設部22~25

- ・河川流量を確保し、水災害を防止するため、護岸整備や堤防の強化等のハード整備による治水対策を計画的に推進
- ・緊急浚渫推進事業を昨年度と同規模(20億円)実施するほか、5か年加速化対策により、河川等の浚渫を強化

まちづくりや住民避難の取組 8億9307万5千円※(6億5232万2千円) ⇒建設部1、危機管理部1

- ・危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラの設置、浸水想定区域図の作成など、水災害に備えたまちづくりを推進

流域における雨水貯留等の取組 71億6376万9千円※(17億599万9千円) ⇒建設部1、農政部5、林務部13

- ・県有施設における雨水貯留浸透施設・雨水貯留タンクの設置や、ため池・水田を活用した雨水貯留など、流域で雨水を「留める」取組を推進

## 逃げ遅れゼロ、避難所の環境改善

### ◆令和元年東日本台風災害を教訓に、逃げ遅れゼロプロジェクト、避難所の環境改善等を推進

(新)「信州防災アプリ」(仮称)の開発・普及 3034万6千円 ⇒危機管理部1

- ・平常時には、「防災県民手帳」で防災に関する情報を簡単に確認し、日ごろの備えに活用
- ・災害時には、「プッシュ通知」を行い、現在地の危険に応じた、最適な避難行動を促進

「災害時住民支え合いマップ」の作成促進 1118万5千円(1161万円) ⇒健康福祉部24

- ・専門員によるマップ作成支援、新たにデジタルマップを活用し取組を加速

(新)社会福祉施設等の実態調査 397万2千円 ⇒健康福祉部21

- ・浸水想定区域内に立地する社会福祉施設等の実態を調査、調査結果を踏まえた各施設の安全確保対策を支援

(新)避難所TKB(トイレ・キッチン・ベッド)の環境改善 498万5千円 ⇒危機管理部2

- ・市町村・NPO・民間団体等と連携し、避難所のTKB(トイレ・キッチン・ベッド)の環境を改善

## 火山防災対策の強化

### ◆御嶽山噴火から6年が経過する中、御嶽山ビジターセンター（仮称）の整備を進めるとともに、御嶽山の火山防災対策を強化

御嶽山ビジターセンター（仮称）の整備 6億3186万円※ ⇒危機管理部、環境部

- ・「いのちを守る」「火山を学ぶ」「自然とふれあう」をコンセプトに、御嶽山ビジターセンター（仮称）を整備し、火山防災の普及啓発や御岳県立公園の利用を推進

御嶽山の火山防災対策の強化 3629万円（1263万9千円） ⇒危機管理部3

- ・名古屋大学の御嶽山火山研究施設の運営を支援
- ・地域に根ざした火山防災普及啓発に取り組む御嶽山火山マイスターを引き続き養成
- ・地元自治体を実施する火山避難施設整備に対して国とともに支援

## 消防防災航空体制の再構築

### ◆消防防災航空隊の活動を安全に行うため、操縦士や隊員の訓練等を計画的に実施

消防防災航空体制の再構築 9457万2千円（29億8272万6千円） ⇒危機管理部5

- ・ダブルパイロット制（機長2名による運航）などの安全対策を定着させるとともに、航空隊の技術力向上を図るため、新機体及びシミュレーター等による訓練を実施